

## 鶴岡アートフォーラム特別参加型企画

### 「夏休みワークショップ」

7月24日・31日・8月7日・21日

会場：鶴岡アートフォーラム

997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

T/0235-29-0260 F/0235-22-6051

E-mail/info@t-artforum.net

鶴岡アートフォーラム(担当：小林・林・栗山)

このたび鶴岡アートフォーラムでは、夏休み企画として4つのワークショップ(体験型アート講座)を開催します。立体造形・写真・洋画・彫刻などさまざまなアートジャンルの第一線で活躍する作家と一緒に作品を「知る・つくる・見る」ことでアートを身近に感じ、楽しんで頂く機会になればと思います。

子供向けから大人向けまで楽しめる、盛り沢山の内容です。

#### ■共通事項

【参加費】500円(申し込み時にお支払いください)

【定員】各15名(先着順)

【申込】7月4日(日)より来館または電話(0235-29-0260)にて申込(受付時間9:30~19:00)

【備考】汚れてもかまわない服装でご参加ください。

主催：鶴岡アートフォーラム/鶴岡市教育委員会

#### ■ワークショップ内容詳細

##### [1]まわる！つるおかザウラスをつくろう

空想上の怪獣「つるおかザウラス」を紙粘土で作ります。「つるおかザウラス」にモーターを取り付けぐるぐるまわって完成です。完成作品は同時開催の「ぐるぐるボカン ～まわる！はしる！つるおかの自然」の会場に展示します。



2009年WS(プラザノースギャラリー・埼玉)

#### 【講師】

タムラサトル(造形作家)

【日時】7月24日(土)

15:00-16:30

【対象】小学生

(3年生以下保護者同伴)

【備考】作品は展覧会終了後に返却できます。

#### 【講師紹介】

タムラサトル (たむら・さとる)

\*別紙「ぐるぐるボカン」プレスリリース参照

##### [2]日光写真ってなあに？

～太陽が写す手作り肖像写真

カメラを使わなくても写る不思議な日光写真。自分の写真に“面白い形のもの”を重ねて、太陽の光で像が浮かぶオリジナルの肖像写真をつくります。午前の回は楽しい体験型講座、午後の回では講義を交えながら写真の古典技法「サイアノタイプ(日光写真)」の魅力をもっと深くお伝えします。



#### 【講師】

千葉奈穂子(写真家)

【日時】7月31日(土)

[1]10:00-12:00

[2]13:30-16:30

\*雨天時は翌日開催

#### 【対象】

[1]小・中学生

[2]一般(高校生以上)

《WS参考作品》

#### 【講師紹介】

千葉奈穂子(ちば・なおこ)

岩手県生まれ。家族の家の撮影を続け、「わたし」という存在を問う作品や、東北の町に暮らす人々の現在の思いや記憶をつづる作品などを中心にサイアノタイプ写真、立体、映像等を用いた作品を発表し、新鋭写真家として全国的な注目を集めている。平成13年度岩手県美術選奨受賞、「センダイアートアニュアル2002」飯沢耕太郎賞受賞。現在、酒田市在住。



《幼稚園》2006年

成島和紙にサイアノタイプ、木製パネル 108×172×3.5cm

▼裏面もご覧ください

### [3] ドロドロえのぐ！～全身で感じる色体験

鶴岡公園で見つけた石や枝、体全体を使って親子でペインティング作品をつくります。筆など既製品の道具は使用しません。“色”を五感で体験しながら、連想するものを思い思いに描きます。



2005年WS（鶴岡アートフォーラム）

【講師】花澤洋太(洋画家)

【日時】8月7日(土) 10:30-12:00

【対象】幼児とその保護者【持ち物】タオル

【備考】保護者の方も制作に参加します。

#### 【講師紹介】

#### 花澤洋太(はなざわ・ようた)

東京都生まれ。刻々と変化する人の気持ちやその変遷を、油絵具を重ねたレリーフ状の画面で表現した作品を数多く発表し、身体感覚を研ぎ澄ました独自の表現を追求している。1991年、「東京藝術大学卒業制作展」大橋賞受賞、大学買い上げ。2000年、「第68回独立展」独立賞受賞。現在、東北芸術工科大学総合美術コース准教授・こども芸術教育研究センター長。



《もり》2009年  
レリーフ状パネルに油彩 194×259×15cm

### [4] キンキラみんな！～黄金に輝くセミをつくろう

アーティストの作品である「黄金のセミ」の制作体験です。型抜きされたセミをひとつずつ金色に塗り、最後に合体させて巨大なオブジェをつくります。作品はアートフォーラム内に展示します。



《WS参考作品》

【講師】大平龍一

(彫刻家)

【日時】

8月21日(土)

14:00-16:00

【対象】一般

(小学生以上、  
小学3年生以下保護者  
同伴)

#### 【講師紹介】

#### 大平龍一(おおひら・りゅういち)

東京都生まれ。木彫刻を通じて神域や聖地、境界、空間のしきりに関して研究。“特別な物”“特別な場所”をテーマに作品を発表し、現代彫刻の新しい表現として高い評価を得ている。2005年、「SICF 6th」南條史生賞受賞。2006年、「東京藝術大学卒業制作展」安宅賞受賞。現在、東京藝術大学大学院美術研究科彫刻専攻博士後期課程在籍。



《セミシグレ》2008年  
木彫原型に石膏、金彩 4444匹 1200×175×6cm

\*掲載において作家顔写真・作品図版の使用を希望される際は、データをご提供しますので、鶴岡アートフォーラムまでご連絡ください。メールにてJPEG画像を送付いたします。